

ホームページをリニューアルしました。



活動報告をはじめ、松崎コミュニティ・箱浦ビジターハウス（指定管理施設）利用についてのご案内、予約状況の確認・利用申請ができるようにリニューアルしました。



URL : <http://takumatai.mitoyoshi.com/>

自治会長研修会

三豊市自治会連合会総支部の、令和2年度自治会長研修会は、新型コロナウイルス感染症の収束が不透明でありましたが、ソーシャルディスタンスを意識する中で、代表による19名の自治会長さんにご参加いただきました。私たちの出す燃やせるゴミが「バイオマス資源化センターみとよ」でどう処理され、リサイクルされているのか、その工程を確認、また三豊市のゴミの現状をお聞きし、ゴミの出し方について再認識することができました。その後、「エビス紙料(株)」「(株)パブリック」におけるプラスチックゴミの再生加工や、産業廃棄物の処理を見学、新たな知見を得ることができました。

出来上がったばかりの少し温かい固形燃料(RPF)を実際に触ったり、においを嗅いだり、五感を使っての有意義な研修となりました。私たちの排出する燃やせるゴミは、発酵技術により燃やさずに処理できるようになりました。これらを再利用・リサイクルし、再び燃料として資源化されます。この一連の工程を目の当たりにした意義ある研修となりました。



地区衛生委員研修会

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を取りながら、9月29日(火)三豊市地区衛生組織連合会総支部で「私たちが毎日出しているゴミの処分について」研修を行いました。町内の資源回収をお願いしている「(株)松本光春商店」では、紙や段ボールが再生されるまでの流れを伺い、工場で分別処理されている様子を見せていただきました。

ネット時代の影響か新聞や雑誌は減少傾向ですが、コロナ禍で在宅の時間が長くなり、段ボールの収集量が増えたり、時代や経済によって収集内容が変化するそうです。「バイオマス資源化センターみとよ」では環境に配慮した施設内で処分されている市内各家庭から出たゴミの処理について、どのように資源となっているのかを伺いました。日本でここにしかない処理施設。そこで資源に生まれかわるゴミ。今回の研修では、**ゴミの分別を一人ひとりがしっかり行い、資源にする！私たちの周りの環境、町の環境、地球の環境を考え、小さな行動を積み重ねることが大切だ**ということを痛感しました。



クリーンアップ in 仁老浜 令和2年11月3日(祝・火)

海ごみが大量に漂着しているポイントを中心に行われるクリーンアップ。

第13回クリーンアップ in 仁老浜が、NPO法人アーキペラゴ、地区衛生組織連合会総支部主催で行われ、県内外から68名が参加して、仁老浜に流れ着いた海ごみ調査の後、全員で海岸のゴミ拾いを行い、約150kgの漂流物が集められました。

ごみを減らす第1歩は、まず自分の出すゴミについて意識すること。自分達の家庭でのゴミの出し方を考える機会になりました。キレイな海岸、キレイな海、キレイなまちになるように、これからも活動していきます。

